

MISHIMA INTERNATIONAL
RELATIONS ASSOCIATION

MIRA

通信

<https://mishima-life.jp/mira/>

No. **101** 2017年

平成29年 6月30日発行

三島市国際交流協会

〒411-8666

静岡県三島市中央町5-5

三島市役所中央町別館

TEL (055) 976-1020

FAX (055) 976-1021



どこの国の踊りでしょうか？

(こたえは4ページを見てね)

第24回

国際交流フェア

(5月21日開催)

平成29年度

三島市国際交流協会総会

平成29年度の総会が、5月10日(水)、みしまプラザホテルにて開催されました。平出会長の挨拶、来賓の豊岡武士市長、松田吉嗣市議会議員(当時)の祝辞ののち議事に入り、平成28年度の事業報告、同決算報告、監事会計監査報告、協会規約の一部改正(案)、平成29年度事業計画(案)、同予算(案)の審議が行われ、各号とも、承認可決されました。

平出会長は、冒頭の挨拶の中で、2月に開催した山田中学校での出前講座について触れ、「初めての試みだったのでその効果については



懇親会の様子

定かではないが、協会の活動のPRを通じて、若い人が国際交流や外国の文化に興味を



総会の様子

持ち、英語力を伸ばし、将来グローバルの視点で活躍できるようになってほしい、今年度はほかの小中学校にも積極的に出前講座を行うなど、協会として一層充実した活動を目指したい」と抱負を述べました。

総会終了後、懇親会が行われ、会員相互の交流の輪が広がりました。

三島市国際交流協会役員名簿

名誉会長

豊岡 武士 (三島市長)

顧問

小池 政臣 (前市長)

鈴木 文子 (市議会議員)

相談役

小野 金彌 (元会長)

石村 郁夫 (元会長)

小松 幸子 (元会長)

朝日 智雄 (前会長)

理事

平出 利之 (会長)

矢岸 克行 (副会長)

遠藤 正幸 (副会長)

千葉 慎二 (会計)

望月 眞弓 (総務委員長)

中田 英機 (都市交流委員長)

河田 唯一 (教育文化事業委員長)

金子 諭 (広報委員長)

山本寿美子 (在住外国人交流委員長)

長沢 ゆみ (総務副委員長)

伊東三和子 (都市交流副委員長)

堀内 淳 (教育文化事業副委員長)

渡辺 靖乃 (広報副委員長)

鳥居 正浩 (在住外国人交流副委員長)

鈴木 智子 (三島商工会議所事務局次長)

中村 哲雄 (三島函南農業協同組合常務理事)

石田 勝之 (日本大学国際関係学部教授)

大村 暁伸 (三島市自治会連合会副会長)

佐藤 眞吾 (三島市文化芸術協会副会長)

高原 敏廣 (三島ロータリークラブ財団会長)

室伏 勝宏 (三島西ロータリークラブ元会長)

兵藤 弘昭 (せせらぎロータリークラブ国際奉仕委員長)

碓井 宏政 (三島ライオンズクラブ理事)

佐藤 晴 (三島泉ライオンズクラブ会長)

山本 宗樹 (三島青年会議所理事長)

藤吉 智子 (国際ソロプチミスト駿河事務局長)

白井由美子 (グローバル文化交流協会事務局)

王 春華 (在住外国人代表)

松田 智子 (三島日本語サークル会長)

監事

亥角 裕巳 (亥角会計事務所)

志村 肇 (学識経験者)

(敬称略)

平成29年度 行事予定

4月	27日	三島市国際交流協会理事会
	27日	教育委員会に図書寄贈
5月	10日	三島市国際交流協会総会・懇親会
	21日	第24回国際交流フェア (商工会議所TMOホール)
6月	24日	第8回フラワーアレンジメント講座
7月	11日～8月29日	夏期語学講座(英会話初級、おもてなし英会話、スペイン語、中国語)
	12日～16日	麗水市花園中学校受入
	30日～8月7日	フレンドシップ2017パサディナ市派遣
	30日～8月20日	パサディナ市夏期研修生派遣
9月	8日～12月1日	日本語の教え方講座
	25日～12月12日	続語学講座(スペイン語・中国語)
10月	15日	第54回姉妹都市親善英語スピーチコンテスト
	21日～28日	パサディナ市公式訪問団派遣
11月	中旬	麗水市公式訪問団派遣
1月	28日	新春交流パーティー(商工会議所TMOホール)
3月	下旬	ニュープリマス市・麗水市へ研修生派遣

行事は都合により、日程・内容が変更になることがあります。

平成
28年度

姉妹都市ニュープリマス市 派遣研修生事業報告

～実り多い9日間、ニュージーランドを思いっきり満喫～

3月19日～27日まで、研修生9人と指導員2人が、姉妹都市派遣研修で、ニュージーランドを訪問しました。研修生らは、姉妹都市ニュープリマスでホームステイをしながら、現地の学校での授業を受けたり、いろいろなイベントを通じて交流を深めました。

ほとんどの研修生が海外渡航が初めてで、また、ホストファミリーがどんな人だろうか、英語が通じるだろうかなど、最初は不安がいっぱいでしたが、ニュープリマスの人たちが皆、優しくて気さくに話しかけてくれたおかげで、すぐに打ち解けることができたようです。研修生は、日本との文化や生活習慣の違いなどを体験するとともに、自然が豊かで、時間がゆったり



と流れているようなニュージーランドのすばらしさを肌で感じとることができました。

日本での授業とは比べようもないほど速くて聞き取れない、言いたいことがうまく言い表せないなど、生の英語に触れた経験は、研

修生全員に、英語をもっと勉強するぞ、もっとうまくなるぞ、といった強い向上心を芽生えさせたようです。

ニュープリマスのホストファミリーとの涙のお別れの後、ワイトモ鍾乳洞の土ボタル、羊の毛刈りショー、テプイアの間欠泉など、ロトルアやオークランドを観光して帰国しました。

ニュージーランドを思いっきり楽しみ、実りの多い9日間の研修でした。



日程表

- 3/19(日) 出発
- 3/20(月) ニュープリマス市役所でマオリ式歓迎会
- 3/21(火) ホームステイでの生活体験
- ～23(木) ホストスチューデントと登校
- 3/24(金) ニュープリマス市内観光・お別れ会
- 3/25(土) ワイトモ鍾乳洞・テプイア間欠泉など
- 3/26(日) オークランド市内見学
- 3/27(月) 帰国

研修生

学校推薦

- | | |
|------------|-------------|
| 渡邊 百萌(北 中) | 宮崎賢士朗(南 中) |
| 石田 彩夏(山田中) | 亀谷もも花(北上中) |
| 伊藤 南海(錦田中) | 前田陽菜乃(中郷西中) |
| 岩附 利英(中郷中) | |

スピーチコンテスト優勝者

- | | |
|------------|--------------|
| 伊藤なつみ(葦山高) | 佐野 萌華(日大三島中) |
|------------|--------------|

指導員

- 坂本 学、樫村ウォルシュ茜(国際交流室)

2017 第24回

国際交流フェア

第24回国際交流フェアが5月21日(日)、三島商工会議所・TMOホールで、世界の踊りをメインに開催されました。快晴の下集まった多くの家族連れや外国人は、バリ舞踊、インド舞踊、ズンバなどの珍しい踊りに見入り、世界の料理コーナーでは異国の味に舌鼓をうっていました。また、今回も、日大の福井千鶴ゼミの参加協力で南米文化に触れる機会を得ることができました。



バリ舞踊

日大・福井千鶴ゼミ



インド舞踊



民族衣装を
着てみたよ



バンブーダンス



ズンバ

身近な外国人との コミュニケーション

～「やさしい日本語」で話してみよう～

「やさしい日本語」とは、普段使っている言葉を外国人にもわかるように配慮した簡単な日本語のことです。

あなたも「やさしい日本語」で、身近な外国人と話してみませんか。

NO.
1

どうして「やさしい日本語」ができたの?

今から23年前の1995年1月17日、阪神・淡路大震災が起こりました。この時の死者や負傷者の数を日本人と外国人で比べてみると、外国人の方が高い割合で被害を受けていることがわかりました。「地震のあと流される情報は日本語ばかりで、どうすればよいのかわからなかった」という外国人の声も多かったのです。

外国人に情報を伝えるためには、彼らの母語で伝えることが有効ですが、災害時に出来る多くの情報を様々な国籍の多様な言語に言い換えるのは難しいことです。

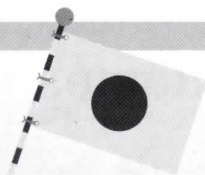
そこで、外国人にわかりやすく日本人にも使いやすいよう考案されたのが「やさしい日本語」なのです。

[弘前大学人文学部社会言語学研究室HPより]



会長
松田 智子

三島日本語サークル



夫の仕事に伴いインド南部に6年間滞在した。インドの文化に触れるのが楽しくて、日本文化の紹介をする傍らでインド文化にのめり込んだ。インドの古典舞踊を学びMIRAフェアで披露するほどの腕前に。インドの絵も学んだ。異国で生活し国際感覚を身につけた。帰国後は「三島日本語サークル」の会長を務める。

『日本語を学ぼうとする外国人に、ボランティアとして日本語を教え交流を図ることにより、日本語能力向上を支援する。また、相互の文化、習慣を理解し国際交流に貢献する』という趣旨の元、現在会員数は約40人、受講者は50人程度で活動している。最近では日本語能力試験を受ける学習者が多く、授業はマンツーマン方式で、三島本町タワーで週1回程度行っている。1回の時間と回数は学習者の希望に沿って相談の上決める。楽しく学んでもらうために、日本文化の体験やおしゃべり会を開き、スピーチ発表会を行うなど、場面に応じた会話ができるように工夫している。一方、市からの依頼で学校に出向き子供達の日本語習得のお手伝いもしている。言葉が分からないことで学校嫌いになったり、友達ができにくくなるのを防ぐためだ。

昨今では活動の場が広がるにつれ教える側が不足気味なのが現実だ。サークルでは、皆さんに身近な国際交流ができる「三島日本語サークル」に参加していただき、日本語学習を通して絆が生まれる異文化交流を是非体験していただきたく会員を募集している。是非多くの方のご参加をお待ちしています。

問合せ 三島市国際交流協会 TEL.976-1020



国際交流室 新職員紹介

「welcome!」



国際交流室長
池田 智美

入庁して初めての職場が秘書課で姉妹都市交流の担当だった。当時の姉妹都市はバサディナのみ。今更ながら成田からよくぞ一人で研修生を連れて来たものと驚くそう。今年古巣に戻って来たが、以前より姉妹都市、友好都市も増え、活動も盛んになっていると実感。三島の町にも外国人を多く見かけるようになった今、地域協働・安全課長も兼ねるので市民と在住外国人が共に親しめる多文化共生の暮らしやすい街づくりをサポートしたいという。三島生まれだが父親が転勤族、幼少時自宅にあった温泉浴場の影響で温泉好きに。趣味は、しばらく遠ざかっているが旅行と古い食器集めを楽しみ、食器棚に専用のスペースも持っている。高校生から社会人までの1男3女の母であり家族全員が美味しいケーキに目がないスイーツ派。朝ドラを見てからさっそうと自転車通勤5分。水がきれいで人の温かい三島が好きだと長い髪が素敵な新室長は楽しそうに語る。



国際交流室
高田 麻理

まぶしい笑顔の新人はまさにMIRAの申し子!なんと13年前のスピーチコンテストの宇山杯受賞者だった。小6で参加したニュープリマス姉妹都市研修で英語に興味を持ち、中3でスピコン最優秀賞、大学の英文学科在学中は米国やカナダなどで研修、卒業後も世界各地に旅行した海外通。大手飲料メーカー子会社就職後はウィスキー工場で外国人向け見学ツアー通訳を担当し昨年故郷三島に戻った。窓から夕焼けの富士山を美しく望む家で育ったせいか地元の自然が大好き。週末は「伊豆ジオ巡り」しながら海や山に出かけるアウトドア派である。撮った写真はInstagramにアップして伊豆PRにも貢献する。好物は白糸の滝で出会った富士宮焼きそば。歯応えがたまらないという。自然の中に歴史を感じさせる三島の源兵衛川に癒されつつの徒歩通勤15分。これからは「国際都市MISHIMA」を目標に、日本と世界の架け橋になり、新しい歴史を刻む力になりたいと、夢見る瞳は輝きを増す。

James Molloy - MIRA Newsletter #12

JIMのみしまものがたり⑫



三島のシンボルって何？



今年のゴールデンウィークは素晴らしい天気でしたね。皆さんはどのように過ごしましたか？私は源兵衛川沿いを散歩し新緑と清々しい空気を楽しみました。カワセミの姿を探しながら川沿いを歩いていると、ふと日本に初めて訪れた時のことを思い出しました。

1995年の4月、大学3年目を終え、私は日本行きの飛行機に乗り込みました。1年間ワーキングホリデーを利用して沼津で過ごすことを決めた私は、これから始まる新生活に胸が高鳴っていました。

日本で初めて過ごしたその1年は、今振り返っても、本当に素晴らしい1年でした。その頃の友人達との思い出はかけがえのない宝物です。そしてもう一つ、私にとって予想外で忘れられない出来事がありました。私の故郷、ニューファンドランドから9時間のフライト後、バンクーバーに到着した時のことです。成田行きの飛行機に乗るために国際線のゲートに向かっている道すがら、何店かの免税店が目に入りました。店先にはメープルシロップ、メープルクッキー、メープルシュガー、メープル…、とにかくメープルだらけ。驚いたことに、メープルと名の付くあらゆる商品が揃っていたのです！その光景は、当時の私にはとても異様なものとして映りました。

沼津に到着後、すぐにたくさんの人達と知り合う機会がありました。初対面での挨拶は決まっていたのでした。

New friend: Nice to meet you.
Me: Nice to meet you too.
New friend: Where are you from?
Me: Canada.
New friend: Canada! It's a beautiful country, and famous for maple.



そう、私は21歳で日本に行くまで、「カナダ＝メープル」というイメージが強いことを知りませんでした。カナダ出身なのに？と皆さん驚かれるかもしれませんね。もちろんカナダで暮らしていた時は、カエデの木やカエデの木から採れるメープルシロップは身近にありましたが、まじまじと観察したり、それについて深く考えたりすることはありませんでした。（今ではカナダ固有のタータン柄が「メープルリーフタータン」と呼ばれていることなど、自信を持ってカナダのシンボルについてお話しすることができますよ。）

よく言われることですが、自分の生まれ育った地を離れて初めて、自身のルーツやその土地について深く考えるきっかけができるのではないのでしょうか。

さて、突然ですが皆さんに問題です。三島市の鳥はカワセミですが、市の花、市の木は何かご存知ですか？

三島桜とイチョウ（銀杏）だと思った方、正解です！

このエッセイを読んでいる方のなかには、海外からのゲストとそれぞれの街のシンボルについて話す機会がある方もいるかもしれませんね。では、カワセミとイチョウ、それぞれ英語で何というかわかりますか？

カワセミは“Kingfisher”、イチョウは“Ginkgo Tree”あるいは“Maidenhair Tree”といいます。ちなみに、“Ginkgo”は、銀杏の音読み（ぎんぎょう）が誤植されたという説があるそうです。

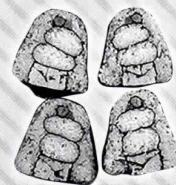
ぜひ三島の街を散策しながらシンボルを探してみてください。そして、英語での説明にチャレンジしてください！



土曜日の外国人子ども学習支援 やってます

のびっこクラブみしま

副代表 黒萩道義



新春パーティー鏡餅柄
デコ巻寿司

「のびっこクラブみしま」は2010年5月より、土曜日の外国人子ども学習支援として活動を始めました。2011年4月には、同様の活動をしていた「クラスぽよ」と統合して活動をパワーアップしました。現在は「日本大学国際関係学部国際協力部アモールファミリア」と連携しています。

具体的には外国人の小中高校生に日本語を教えたり、日々の学校での学習をサポートしています。このほかに年間をとおして、日本の文化や四季折々の行事を伝えています。

去る1月21日、三島市立北小学校地域連携室で「支援が必要な外国人親子のための新年会～日本のお正月と南米文化を楽しもう～」を開催しました。

内容は①クイズ形式による日本のお正月の紹介 ②カルタ、コマ、羽子板などを体験 ③昼食にデコ巻き寿司を親子でつくる ④南米出身のピエロさんによる多言語での楽しい南米文化体験などでした。

会場には外国人親子や日本人親子併せて40名が集まり、日大生のアモールメンバーによる絶妙な司会で盛り上がりました。南米から来た子どもの親たちは、幼少期に体験した遊びを自分の子どもに体験させてあげられた喜びを感じてくれました。また日本の子どもたちも、少し戸惑いながらも南米の遊びを楽しんでいました。アモールメンバーは会のコーディネーターとして、親にも子どもにも気配りをしてくれました。

今後は南米系の親子に限らず東南アジア、中華圏の親子の加入が増加の傾向にあります。言葉の障害を可能な限り取り除いて、日本の学校や社会に溶け込むようにサポートしていきたいと思います。

主な活動は学習支援です。しかし、ひらがなやカタカナ、漢字などにとどまらず、生活習慣などに戸惑う子どもたちへの支援も大切にしています。多くの市民の皆様のご協力をお待ちしています。

教育委員会に図書を寄贈



◀西島教育長(左)
と平出会長

毎年恒例となっている図書の寄贈のため、平出会長ほか役員が、三島市教育委員会を訪れ、西島教育長に小中学校21校分の本を手渡しました。この本は『なるほど知図帳世界2017』というもので、世界地図ばかりでなく、世界の情勢、国際ニュース、時事問題などを、写真や表などを駆使してわかりやすく解説しており、楽しく教養が身に着く図書です。これは、協会が保有する国際交流振興基金を活用して行っている事業で、今年で13回目となりました。

ふじのくに多文化共生フェア 世界のがっこう



静岡県、静岡県国際交流協会主催の、ふじのくに多文化共生フェア『世界のがっこう』が、3月19日(日) 11時～16時、大社の杜みしまにて開催されました。バンド演奏(音楽)、インド舞踊(体育)、民族衣装の試着と撮影(家庭科)、世界の給食(給食)、世界の言葉で名刺を作ろう(美術)、などたくさんのブースが設置され、大勢の方が訪れました。

三島市国際交流協会も、協会の活動紹介のブースを特別活動の授業として設置しました。

★ 三島市国際交流協会 (MIRA) 事務局
TEL 976-1020・FAX 976-1021
★ 三島市国際交流室 TEL 983-2645
三島市中央町 5-5 三島市役所中央町別館



外国人に日本語を教えるボランティアの養成講座

日本語の教え方講座

受講生募集!

日・時 2017年9月8日～12月1日までの
毎週金曜日 午前10時～11時30分
場 所 三島市役所中央町別館 会議室
対象者 三島市在住・在勤の方、または協会員
内 容 外国人に日本語を教える
ボランティア養成講座
定 員 20名(応募者多数の場合は協会員優先)
受講料 一般2,000円 会員1,000円
別途テキスト代
申 込 往復はがきに「日本語の教え方講座申込」と明記し ①住所 ②氏名(ふりがな)
③電話番号を記入 三島市国際交流協会
(〒411-8666 三島市中央町5-5)へ郵送
締 切 8月4日(金)
問合せ 三島市国際交流協会(☎976-1020)

第54回 姉妹都市親善

英語スピーチコンテスト

出場者募集!

日 時 2017年10月15日(日) 午後1:00～
場 所 三島市中郷文化プラザ 2階多目的ホール
部 門 中学生の部(三島市民または市内在学)
高校生・大学生・一般の部
賞特典 各部門1～3位、特別賞に賞状・記念品
各部門1位には姉妹都市ニュープリマス市への
ホームステイ研修補助金10万円を三島市国際
交流協会が支給
申 込 9月29日(金)までに三島市国際交流協会に
申込用紙を提出
問合せ 三島市国際交流協会
〒411-8666 三島市中央町5-5
☎976-1020
*詳細は、ホームページをご覧ください。

続スペイン語& 続中国語講座

受講生募集!

日 時 2017年9月25日～12月12日まで全12回
中 国 語…毎週月曜 午後7時～8時30分
スペイン語…毎週火曜 午後7時～8時30分
場 所 三島市民活動センター4階会議室
対象者 MIRA会員で当協会夏期語学講座修了者
又は同程度の学習経験者
定 員 20名(応募者多数の場合は抽選)
最少実施人員 5名
受講料 3,000円
申 込 往復はがきに「続中国語講座申込」または
「続スペイン語講座申込」と明記の上、
住所・氏名(ふりがな)・電話番号を記入して
三島市国際交流協会
(〒411-8666 三島市中央町5-5)へ郵送
締 切 9月8日(金)
問合せ 三島市国際交流協会(☎976-1020)

パサディナ市公式訪問団派遣

日 時 10月21日～28日

訪問団員募集のお知らせは
広報みしま7月1日号でご覧ください

友好都市提携20周年 記念行事

中国語スピーチコンテスト

*今年度開催が予定されていますが
内容は次号でお知らせします

麦畑 (広報委員・活動後記)

- ★麗水との友好提携20年。現在、記念誌編集集中 (S)
- ★外国人も日本人も、住むみんなが幸せな三島にしよう (青)
- ★新学期、学校も地域もメンバーチェンジで活性化 (古)
- ★新趣向のMIRAフェア。異国のダンスで大盛況 (桜)
- ★さあ、夏の楽しみを始めましょう! (J)
- ★三島の夏はしゃがりの音と共にやって来ます。 (明)
- ★五月晴れ美味しい楽しいMIRAフェアに笑顔満載 (魚)